

平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	教育推進部	記入責任者	遊作 克己
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育推進部の業務計画に位置付けた事業については、87事業のうち78事業がS評価、3事業がB評価、指標を達成できなかったが成果はあがったものとして5事業をA評価、成果は今後見込めるとして1事業をC評価としており、重点的に進めていくべき事業については、概ね順調に進捗しています。また、業務計画に位置付けていない事業についても概ねS評価となっています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>業務計画に位置付けた事業のうち、（仮称）茅ヶ崎市歴史文化基本構想策定準備事業については、目標値である基本構想策定にいたらなかったためC評価となったものですが、同事業については、文化財保護審議会からも、より慎重に検討すべきとの意見を受けていることから、本市の文化財に係る課題の整理について引き続き進めていきます。A評価となった事業については、利用者、参加者が目標値に達しなかったことによります。また、目標値を達成できた事業についても指標として利用状況や参加者数を設定している事業もあることから、事業の周知や、利用や参加を促すためのさらなる改善が課題と考えます。</p> <p>なお、指標及び目標値については事務事業評価の重要な視点となるものですが、設定当時と利用者等のニーズが変化しているものもあり、今後、その設定を見直す必要があると考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>課題解決に向けた手法を検討するとともに、順調に進捗している事業についても、コストの削減や職員の負担軽減を図るため、さらなる効率化、省力化を図りながら、政策・施策目標の達成に向け、取り組んでいきます。</p> <p>また、第4次実施計画及び次期総合計画（次期教育基本計画）策定も視野に入れ、事務事業評価結果や市民のニーズ、事業にかかる人工等を踏まえた事業の見直しを進めます。</p>			